

宮城県感染症発生動向調査情報(第11週)

宮城県【平成27年03月19日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2015.3.9 ~ 3.15 ・ 第11週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第8週	第9週	第10週	第11週
水痘	3 0.60	1 0.10	5 1.00		3 1.00	2 0.40		24 0.92	38 0.66	470	○→	○→	レ→	○
流行性耳下腺炎								2 0.08	2 0.03	73	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	35 7.00	47 4.70	47 9.40	36 18.00	20 6.67	49 9.80	25 12.50	210 8.08	469 8.09	6,798	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病		1 0.10						15 0.58	16 0.28	96	→	→	→	
伝染性紅斑	6 1.20	5 0.50	5 1.00	3 1.50		2 0.40	1 0.50	24 0.92	46 0.79	600	○→	○→	○→	○
突発性発しん	2 0.40	9 0.90	3 0.60	3 1.50	2 0.67	2 0.40		17 0.65	38 0.66	290	○→	レ→	○→	○
ヘルパンギーナ			1 0.20						1 0.02	10	→	→	→	
インフルエンザ	22 2.75	130 8.67	28 3.50	6 2.00	1 0.20	31 3.88	21 5.25	142 3.38	381 4.10	17,912	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱	2 0.40	1 0.10		3 1.50		6 1.20		5 0.19	17 0.29	140	→	→	→	
流行性角結膜炎								2 0.33	2 0.17	24	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22 4.40	36 3.60	13 2.60	3 1.50	2 0.67	15 3.00		93 3.58	184 3.17	1,659	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎			1 1.00	1 1.00			1 1.00	1 0.20	4 0.33	78	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症					1 0.33			7 0.27	8 0.14	294	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	1		1					◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向 【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページを ご覧下さい。 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans/hokans-center.html			
	川崎病													
	不明発疹症							1						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※			4		2		1	7	85				

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0~4歳 (%)	5~9歳 (%)	10~14歳 (%)	15~19歳 (%)	20~29歳 (%)	30~39歳 (%)	40~49歳 (%)	50~59歳 (%)	60~69歳 (%)	70~79歳 (%)	80歳~ (%)	総数 (人)
2015年 第7週		21.5	33.7	20.6	3.3	3.2	5.2	4.2	3.2	2.4	1.6	1.1	1080
第8週		18.4	36.0	21.4	3.0	3.9	5.6	4.3	2.6	2.0	1.6	1.2	695
第9週		15.0	40.3	24.7	2.3	2.5	5.6	2.7	2.5	1.7	1.9	0.8	481
第10週		22.4	40.4	19.1	2.4	2.6	3.9	3.7	2.0	1.3	0.9	1.3	460
第11週		23.4	43.6	16.3	1.6	2.9	5.5	2.9	1.6	1.0	0.8	0.5	381

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第9週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は高知県(14.15)、福井県(10.81)、新潟県(10.38)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は313例と前週と比較して減少した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢別では0歳(15例)、1~9歳(58例)、10代(7例)、20代(3例)、30代(4例)、40代(5例)、50代(12例)、60代(28例)、70代(51例)、80歳以上(130例)であった。**RSウイルス感染症**: 報告数は1,402例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では鳥取県(7.26)、石川県(6.45)、山形県(5.67)が多い。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では佐賀県(13.22)、福井県(12.45)、大分県(12.14)である。**伝染性紅斑**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別では石川県(0.79)、東京都(0.74)、宮城県(0.67)、埼玉県(0.67)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は減少した。38都道府県から144例報告があり、年齢別では0歳(19例)、1~4歳(110例)、5~9歳(12例)、20代(1例)、40代(1例)、50代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数

今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし *男児、女児は6歳未満

2類感染症: 結核

塩釜管内 男性1名(第10週)
石巻管内 男性1名(第9週)、男性1名
気仙沼管内 女性1名
仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症

仙南管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
仙南管内 女性1名
侵襲性インフルエンザ菌感染症
仙台管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 6例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

インフルエンザ警報は解除されましたが、患者からインフルエンザウイルスBも検出されていることから、基本的な感染症予防対策に心がけてください。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

石巻管内 第11週採取分 ノロウイルスGII 2件

インフルエンザ患者より

塩釜管内 第11週採取分 インフルエンザウイルスB 4件
第11週採取分 インフルエンザウイルスAH3 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第9週採取分 (2.23~3.1) 第10週採取分 (3.2~3.8) 第11週採取分 (3.9~3.15)

インフルエンザウイルスAH3 1件 1件 0件

ヒトメタニューモウイルス 0件 2件 0件

RSウイルス 0件 0件 1件

アデノウイルス 0件 0件 1件

[感染性胃腸炎]

県全体の患者報告数は先週に比べ減少しましたが、基幹定点からのロタウイルスによる感染性胃腸炎の報告数が増加しました。ロタウイルスは冬から春先にかけて乳幼児を中心に胃腸炎を引き起こすウイルスで、3月~5月に流行のピークが認められます。引き続き手洗いの徹底など予防対策に努めてください。

